

日衛連NEWS

Japan
Hygiene Products
Industry Association

発行 / (一社) 日本衛生材料工業連合会

特集 第五回『日中衛生用品企業交流会』クアラルンプールにて開催

2023年11月1日にマレーシア・クアラルンプールにて、「第五回日中衛生用品企業交流会」が開催されました。当交流会は(一社)日本衛生材料工業連合会と中国造紙協会生活用紙専門委員会との共同開催によるもので、両国の持続的業界発展と連携を目指すために2011年から継続開催しております。今回はコロナ過の影響で4年ぶりの開催であり、「品質・環境・標準化」をテーマに140名が参加しました。



目次

- ◇第五回日中衛生用品企業交流会について
- ◇日中代表者の挨拶
 - 中国造紙学会理事長、中国造紙協会生活用紙専門委員会主任 曹振雷氏
 - (一社)日本衛生材料工業連合会会長 澤田道隆氏
- ◇両国の主要参加者紹介
 - 中国造紙協会生活用紙専門委員会副秘書長 曹宝萍氏
 - (一社)日本衛生材料工業連合会理事、全国紙製衛生材料工業会副会長 飯嶋夕子氏
- ◇中国造紙協会からの講演
 - 中国衛生用品業界の現状と今後の動向;張玉蘭氏
 - 中国衛生用品革新時代;秦垂峰氏
 - 中国衛生製品関連基準の紹介;邱文倫氏
 - CO₂排出量ピークアウトとカーボンニュートラルの衛生用品業界への影響と対策;葛継明氏
 - マイクロ流体制御を採用するニット構造衛生用品吸収コアでの革新;甘以明氏
- ◇日衛連からの講演
 - 2023年日本の衛生用品市場概況;高橋紳哉氏
 - 日本の衛生用品に関する現状の標準化内容とその動向;瀬戸洋一氏
 - 日本における生理処理用品の安全性について一体内挿入、多回使用製品を中心に;倉田信弘氏
 - 衛生用品の肌健康に及ぼす影響に関する情報;宮澤清氏
 - 大人用紙おむつの社会への浸透について;柴野壮史氏
 - 不織布生産動向と衛生材料用不織布の革新;松下正樹氏
- ◇質疑応答 ◇展示コーナー ◇レセプションパーティ

第五回日中衛生用品企業交流会について

日中衛生用品企業交流会は、2011年に第一回を上海で開催し、その後第二回を東京(2014年)、第三回を中国・廈門(2016年)、第四回を東京(2018年)で開催しました。今回の第五回はコロナ過の影響で4年ぶりの開催となり、コロナ後の様々な状況を考慮してマレーシア・クアラルンプールで行いました。

第五回『日中衛生用品企業交流会』両団体の代表挨拶

■中国造紙学会理事長／中国造紙協会生活用紙専門委员会主任 曹振雷氏挨拶

冒頭に、コロナ過の影響でこれまで交流会が何度も中断しましたが、両国の努力で今回開催できたことに大きな喜びと、開催に向けた関係者の協力、支援に感謝の意を表しました。

近年、世界経済の回復が鈍化し、各国の経済発展は深刻な課題に直面しており、中日両国もいかにして持続可能な発展を推進していくかという大きな問題に直面しています。このような状況下であるからこそ十数年にわたる交流、協力、友好の架け橋である日中衛生用品企業交流会を通じて、より一層の相互補完の環境を作り、両国の発展に尽くすことが必要となります。信頼とコミュニケーションを経て、業界の明るい未来を共に切り開き、新しい幕開けを共に創出できることを信じています、と当交流会への強い期待を述べられました。



■(一社)日本衛生材料工業連合会会長 澤田道隆氏挨拶(ビデオ)

冒頭、コロナによる延期を経て、今回の交流会開催を迎えることが出来たことに対する喜びと、開催に向けた日中関係者への協力に感謝の意を述べられました。

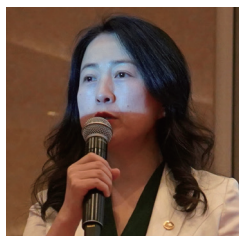
当交流会は、両国の衛生用品について市場・技術・消費者を様々な視点で勉強し、発展を目指してきたものであり、今や製品、技術面では両国同レベルになり、新しいフェーズに入ってきたと思っています。今回は、「品質、環境、標準化」がキーワードであり、お互い学びあうための重要なテーマであると確信しています。少子高齢化、SDG's 視点、ESGへの対応などこれらは両国共通の課題であり、品質・環境・標準化が今後の方向性を決めると思っています。両国共通の課題への取り組みに対して、当交流会が有効な時間になるよう祈念します、と述べられました。



両国の主要参加者紹介

中国の主要参加者の紹介
曹宝萍氏

10名の主要参加者を紹介



日本の主要参加者の紹介
飯嶋夕子氏

7名の主要参加者を紹介





中国造紙協会からの講演

① 中国衛生用品業界の現状と今後の動向

中国造紙協会生活用紙専門委員会秘書長 張玉蘭氏

中国の衛生用品市場(ベビー用紙おむつ、生理用品、大人用カテゴリー、ウェットティッシュ)の動向について報告がなされました。



② 中国衛生用品革新時代—ユーザーニーズと小売のアップグレード—

上海邁迪企業管理コンサルティング有限公司 新小売戦略専門家 秦垂峰氏

リテールの多様化と革新に伴い、市場にどのような変化が生じてきているかが報告されました。



③ 中国衛生製品関連基準の紹介

全国造紙工業標準化技術委員会主任 邱文倫氏

現在取り組んでいるGB、GBTの紹介、また今後取組む予定の対象基準が紹介されました。



④ CO₂排出量ピークアウトとカーボンニュートラルの衛生用品業界への影響と対策

中国造紙協会生活用紙専門委員会・中国パルプ造紙研究院有限公司
生活用紙センター副主任 葛継明氏

カーボンピークアウトとカーボンニュートラルのダブルカーボン戦略に対する対策と対応が報告されました。



⑤ マイクロ流体制御を採用するニット構造衛生用品吸収コアでの革新

広東省職業技術研究院紡織服装研究所副所長助理 甘以明氏

新吸収体コアが紹介されました。



日衛連からの講演

① 2023年日本の衛生用品市場概況

(一社)日本衛生材料工業連合会専務理事 高橋紳哉氏

日本の衛生用品の市場(ベビー用紙おむつ、生理用品、大人用カテゴリー、ウェットティッシュ)の動向について報告がなされました。



② 日本の衛生用品に関する現状の標準化内容とその動向

(一社)日本衛生材料工業連合会技術委員会委員 瀬戸洋一氏

日本の衛生用品における自主基準やJIS、ISOによる標準化の動向が報告されました。



③ 日本における生理処理用品の安全性について

(一社)日本衛生材料工業連合会技術委員会委員 倉田信弘氏

自主基準内容、並びに安全性に関する注意喚起内容や啓蒙活動内容について報告されました。



④ 衛生用品の肌健康に及ぼす影響に関する情報

(一社)日本衛生材料工業連合会技術委員会副委員長 宮澤清氏

衛生用品(紙おむつ、生理処理用品など)の肌健康に及ぼす影響が紹介されました。



⑤ 大人用紙おむつの社会への浸透について

(一社)日本衛生材料工業連合会技術委員会委員 柴野壮史氏

日本における大人用紙おむつの変遷とおむつの選定方法や使用方法が報告されました。



⑥ 不織布生産動向と衛生材料用不織布の革新

日本不織布協会事務局長 松下正樹氏

衛材用不織布に求められる性能・機能のトレンドなどが紹介されました。

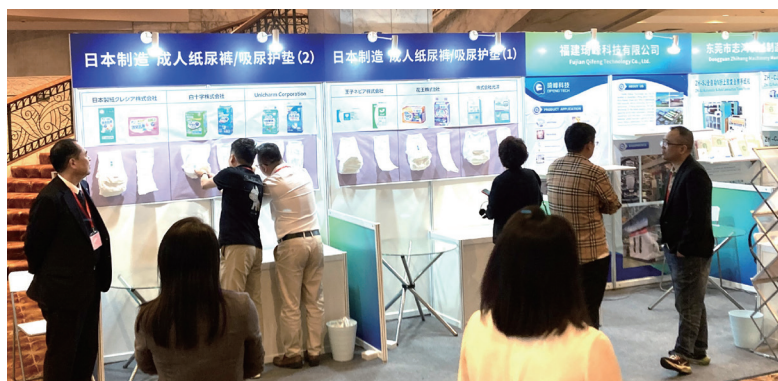
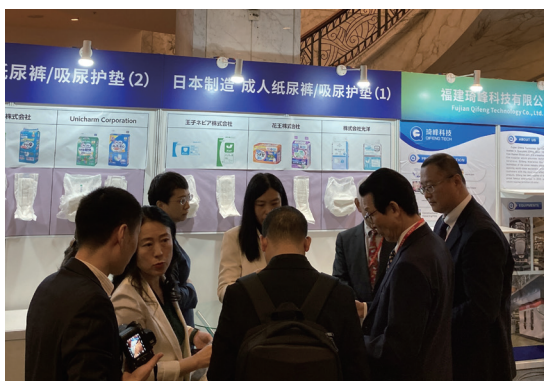
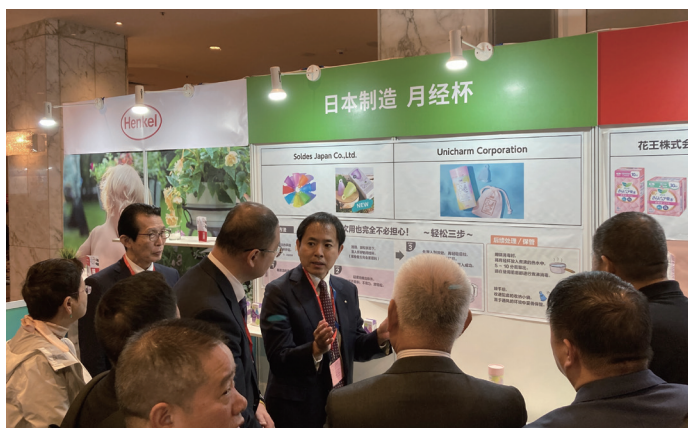
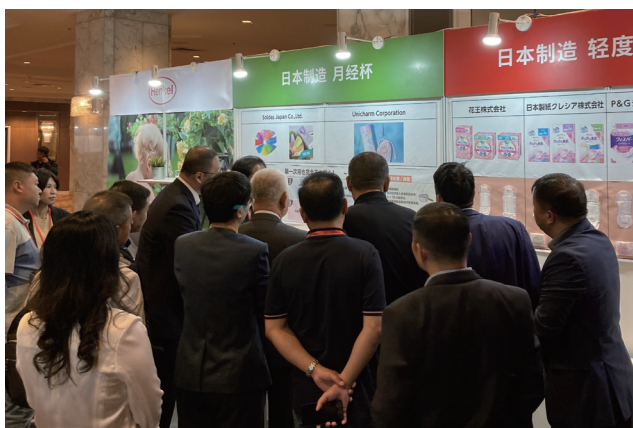


第五回『日中衛生用品企業交流会』質疑応答

講演の9テーマ(中国側テーマ①～④、日本側テーマ①～⑤)について、質疑応答の時間が設けられました。日本からの質問は、中国側が今後注力して取り組む環境関連に質問が多く寄せられ、また中国からは彼らのビジネスチャンスと考えられる大人用おむつ関連、新製品、環境対応についての質問が寄せられました。

展示コーナー

別会場で衛生用品に関わる素材、機械、製品の展示がなされました。日本からは、日衛連として大人用おむつ&パッド、軽失禁パッド、月経カップ、ヘンケルジャパン様からホットメルトを展示し、中国からは、ウェットティッシュ、紙・パルプ、PE/PET複合繊維、マジックテープ、剥離紙、通気フィルムなどが展示されました。



レセプションパーティ

会議終了後、レセプションパーティが開かれました。日衛連副会長の森信次氏と中国造紙協会生活用紙専門委員会副主任委員機構の許清池氏の挨拶からはじまったパーティーは21時近くまで多くの参加者による交流が続けられました。

1. (一社)日本衛生材料工業連合会副会長 全国紙製衛生材料工業会会長 森信次氏 挨拶

初めに、今回の交流会がCovid-19の影響で4年ぶりの開催となり、久しぶりに皆様にお会いできたこと、また本交流会の準備、並びに実りある議論と情報交換が実現したことに喜びと感謝の言葉を述べられました。

両国において、事業を取り巻く環境は急速な変化が進んでおります。高齢化、環境問題、SDGsへの対応などは共通の考慮すべき重要案件です。中日両国の業界における持続可能な環境づくりが進めば、未来の世代に残すべき社会を世界に先駆け築いていけるのではないかと期待するものです。

この交流会が、同士でありよき競合である両国企業の切磋琢磨の機会となり、業界の発展、市場の成長はもとより、世界的な課題解決の促進剤になれば幸いです。



2. 中国造紙協会生活用紙専門員会副主任委員機構 許清池氏 挨拶

初めに、再び中日衛生用品企業交流会で皆様にお会いできたことへの喜びと、会議を準備された関係者への感謝の言葉を述べられました。

中国と日本の衛生製品産業は、異なりながらも共通点があります。少子高齢化、変革とグレードアップ、グリーン開発は共通の課題であり、また解決すべき目標であります。より一層双方の協力を促進し、業界の新たな問題に立ち向かうことを望みます。一方で、近年中国の衛生製品市場は様々な影響を受け、消費者の使用習慣、製品需要、マーケティングチャンネルが絶えず変化しております。これらのユニークな市場特性は、両国の企業にとって挑戦であり、チャンスでもあります。新たな協力の事例を創造し、より多くの発展の成果を分かち合うことを期待します。



3. 記念品交換

